

## 大通公園を望む窓辺から

## 略々々神代のお話

会長 まつか 松家 はるみち 治道

2年前に100歳で他界した母が、戦前は天皇家系図を神武綏靖安寧懿徳……と暗記させられたものだと言っていたことをふと思い出し、まずは古事記上巻（現代語訳版）をひも解いてみた。

宇宙のはじめ、あめつち（天地）の分かたれぬ頃に産まれた、天の御中主神ら5柱の神を、別天津神という。次いで性別のない独り神が2柱続き、さらに男女一対の神々5組が現れ、これらを神代七代と言う、と。その最後の一組イザナギ・イザナミが先の別天津神たちに国造りを命じられ、最初に作ったのが淤能基呂島である。ここを拠点に女神の「成り合わない所」を男神の「成りあまった所」で刺して塞ぎ、淡路島、四国、隠岐……と大倭豊秋津島（本州）まで八つの「国生み」をし、さらに八百万の「神生み」を成すものの、イザナミは火の神を生んだ際に大火傷をして黄泉の国に旅立つ。そしてイザナギが黄泉の穢れを濯ぐ際に、天照大神、月読命、須佐之男命が生まれた。ところが荒ぶる弟の須佐之男命に長姉の太陽神は岩屋戸の中にかくれ、困り果てた神々は岩屋戸の前で天宇受売命に半裸で踊らせた。これに八百万の神が大はしゃぎをし、天照大神が何事かと覗いたところを手力男神がこじ開け、日本最古のショーが世界に光を取り戻したのであった。

その後、天照大神は天孫の邇邇芸命に地上世界の統治を命じ、天宇受売命ほか多くの神々を伴わせた。途中で地上の神である国つ神の猿田毘古が出迎え、一行は日向の高千穂の峰に降臨する。邇邇芸命はここに宮を作り国つ神の娘の木花之佐久夜毘売と結ばれ、三人の息子を得た。その後、長兄は漁師の海幸彦、末弟は狩人の山幸彦となるが、ある時、山幸彦は兄と自分の道具を交換し釣りに行くも、針を魚に取られてしまう。兄の許しを得られず海辺で嘆き悲しんでいると、塩椎神が現れて山幸彦を綿津見神の御殿に導いてくれた。そこで娘の豊玉毘売と結ばれ、釣り針を見つけ元の海辺に帰る。

が、その豊玉毘売は出産のときに本来の大きな鰐の姿を見られてしまい、故郷に帰ることとなり、生まれた鶺鴒草葺不合命の養育に妹の玉依毘売を送った。その2柱はいわゆる叔姪婚となり四人の子が生まれ、末子の神倭伊波礼毘古命が後に神武天皇となった、というところで上巻は終わる。物語はそして皇室へ……それはまた別の話。

## ココトマとココトマカフェ

理事 おき 沖 いちろう 一郎

昨年12月苫小牧市議会が苫小牧市まちなか交流センター「ココトマ」と「ココトマカフェ」の一体運営の指定管理者に、私が理事長をしている苫小牧保健センター（一般財団法人ハスカッププラザ）を指名しました。ハスカッププラザは東胆振地域の健診センターの運営、呼吸器クリニックの経営、様々な健康増進事業などを主体としています。今まで経験のない様々なイベントを主催するイベントホールの運営とカフェ事業は、全くの未知数で最初は困惑しました。

ココトマの場所は苫小牧駅に隣接するビルの1階で、苫小牧市の顔ともなる場所です。

この施設は開業してから10年ほど経過していますが、市民の方や苫小牧訪問者に全く認知されていない状況でした。私も指定管理の話聞くまでは存在も知りませんでした。

施設を事前視察すると、日中にもかかわらずカフェには客の姿はなく、イベントホールにも新聞を広げている老人が数人いるのみでした。さらにキッチンスタジオ、ヨガスタジオなどがありましたが、ほとんど使用されていませんでした。驚いたのはこのイベントホールやスタジオは大きな窓越しに苫小牧駅の線路があり、常に電車が見えることです。様々な特急気動車、特急電車、貨物列車がひっきりなしに走っており、千歳線、室蘭本線、日高本線の電車たちが目の前を行き来しています。新しいココトマは、電車が見えるイベントホール、電車を見ながら食事ができるカフェを作るべくフルリノベーションすることに。こんな場所はどこにもないを合言葉に、カフェや、イベントホールを作り替えました。カフェはまずドリンクやメニューを一新し、夜はアルコールも提供し一日中賑わう場所に。

イベントホールも学術講演会、様々な団体の会合、フリーマーケットの会場、ファーマーズマーケットの会場、ココトマ寄席やココトマ能楽、ココトマコンサートなどなど企画運営しています。昨年9月にリニューアルオープンしてから賑わいが少しずつ戻っています。

今まで経験のない事業ですが、財団職員、苫小牧駅、苫小牧市、市民、苫小牧観光協会、ビルのオーナーの医療法人などの協力、努力に大感謝です。

北海道医師会の会員の皆様も苫小牧駅利用の際はぜひ利用をお願いいたします。またイベントホールでのよい企画があれば連絡してください。

